産業建設常任委員会資料
上下水道局　工務課

議案第９３号
平成３０年度宝塚市水道事業会計決算認定について

資料４　管路、基幹管路の耐震化率及び鉛製給水管率

項目／年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
管路の耐震化率(%)　※1	6.9	7.4	8.0	9.3	9.6
基幹管路の耐震化率(%) ※2	10.5	11.1	11.9	13.5	13.6
鉛製給水管率(%)　※3	8.9	8.5	8.1	7.9	7.6

※１　管路の耐震化率：

耐震性のある材質と継手（管の接続部）により構成された管路延長の総延長に対する割合。

管路の耐震化率(%)＝耐震化管路(m)／管路の総延長(m)×100

（30 年度　9.6　＝　77,573　／　806,307　×　100　）

※２　基幹管路の耐震化率：

導水管、送水管及び配水管（口径 150 ㎜以上）の管路のうち、耐震性のある材質と継手により構成された管路延長の割合。

基幹管路の耐震化率(%)＝耐震化基幹管路(m)／基幹管路の総延長(m)×100

（30 年度　13.6　＝　47,126　／　345,965　×　100　）

※３　鉛製給水管率：

給水管のうち、鉛製の給水管の占める割合。数値が低いほど良い指標である。

鉛製給水管率(%)＝鉛製給水管の残数(箇所)／給水管の総数(箇所)×100

（30 年度　7.6　＝　6,181　／　81,200　×　100　）